

NPOひょうご思春期ピアカウンセリング研究会

ピアっ子通信 in ひょうご

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学高田昌代研究室内

Tel&Fax 078 (794) 8077 E-mail peer_hyogo@yahoo.co.jp http://www.geocities.co.jp/peer_hyogo/

2008年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催

思春期ピアカウンセリングとピアエデュケーションはともに、思春期ヘルスプロモーションの方策であり、若者が自分自身で人生のゴールを見つけ、それを生き生きと実現しようとしていく力を育てる健康教育手法である。

その能力とは、自分やパートナーの人生設計を壊さないように、性=生に関する意識や行動を自分で決められる能力のことをいい、性=生の自己決定能力と呼ぶ。



第5回目となる思春期ピアカウンセラー養成講座を6月に開催しました。

講座は、日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会のカリキュラムにより行われ、9日・10日・16日・17日の4日間に宿泊研修を含む30時間の研修を実施しました。

今年は、神戸市看護大学、関西福祉大学、神戸大学、公立八鹿病院看護専門学校、県立柏原看護専門学校、関西看護医

療大学、甲子園大学の7校から53人の若者たちが集まりました。昨年に比べ、学校数は2校増え、受講者も11人増えました。また、先輩ピアっ子が何人も参加して後輩の研修をサポートするなど、徐々にピアの輪が広がっていることを感じさせました。

こうして誕生した第5期ピアっ子たちも、これから積極的に活動してくことを期待します。

目次：

ジョイセフ思春期保健
ワークショップ 2

思春期ピアカウンセリング関係者研修会 2

思春期ピアカウンセリング全国大会 2

2007年度活動実績 3

高校生対象のデートDVアンケート 4

めっせーじ 4

新ピアっ子の抱負

講座修了後のピアっ子は、「SEXとかコンドームとか恥ずかしくてあまり口にだせなかったけど、見方が変わって恥ずかしいと思わなくなった」「みんな違ってそれでイイと考えられるようになった」など、約8割が人生や性についての考え方が変わったと答えています。

また、「思ったよりもフレンドリーにできてうれしかった。めっちゃ楽しかった！！今後も頑張りたいです」「グルー

プでの話し合いがたくさんあったので、自分とは違った意見も聞いて勉強になりました」「ピアに参加してよかった！！心の底から思いました。あと、自分自身のことがわかって、少し自信がついたような気がします。先輩ピアみたいになりたいと思いました」「中学生に性のことや生きることを伝えるのは難しいと思うけれど、今回学んだことを活かして伝えていきたいと思う」などの感想や抱負を抱いていました。

ジョイセフ思春期保健ワークショップ



各国の指導者と交流
—兵庫県看護協会会館—

6月7日に(財)ジョイセフ(家族計画国際協力財団)の思春期保健ワークショップの一環として、アフガニスタンやカンボジアなど9カ国の思春期保健を担当されている指導者14人とピアっ子10人が交流しました。

《参加したピアっ子の感想》

この企画を聞いた時、僕は外国での活動を知ることができるということもあってすぐに興味を持ちました。そして、それと同時に当日の計画をつくる段階から緊張していました。なぜなら僕は全然英語が話せないので相手とうまくコミュニケーションをとれないのではないかと考えていたからです。しかし、その不安も当日、外国のみな

んと会ったときから解消されました。その場では、英語ができるできない関係なしに互いに笑顔で接しあう本当に楽しい場でした。また、外国人のみなさんによるピアもすばらしいものがありました。なんとといっても、演技力がすごくて観ていると感動するぐらいすばらしい劇をやってくれました。

僕たちにはない新しい視点でのピアをやってもらったり、国ごとの活動を紹介してもらったりと本当に勉強になることばかりでした。そして、最後まで笑顔が絶えることがない本当に楽しい時間でした。この活動に参加できて本当によかったですと思います。

(神戸大学 藤澤聡 ピアネーム さとし)



関係者が集まり、思春期ピアについて意見交換

思春期ピアカウンセリング関係者研修会

思春期ピアカウンセラーの若者たちが活動するためには、地域の理解や大人世代のバックアップが必須です。そこで、思春期ピアカウンセリングについての理解を深めるため、教育・地域保健などの関係者約30人の参加を得て、7月12日・19日の2日間にわたり研修会を開催しました。

今年度は、兵庫県豊岡健康福祉事務所の田中保健師及び赤穂健康福祉事務所の塚本保健師から実践報告をしていただきました。

また、シンポジウムを開催し、北淡路健康福祉事務所の上坂保健師、神戸市立鷹匠中学校の川上養護教諭、県立長田高校の唐木養護教諭、ピアっ子がそれぞれの立場からの報告をした後、参加者も交えて意見交換しました。

ピアっ子も多数参加して、実演を行ったり、コカウンセリングのパートナーとなったりして、大人世代も思春期ピアカウンセリングを体感することができました。

思春期ピアカウンセリング全国大会



全国のピアっ子と交流

第2回思春期ピアカウンセリング全国大会が3月10日・11日に東京都で開かれ、兵庫からもピアっ子3人が参加しました。次回は2009年度に兵庫で開催する予定です。

《参加したピアっ子の感想》

全国ピアには北海道から鹿児島まで全国各地のピアっ子が集まっていました。会場は飾り付けがされており楽しい雰囲気になっていました。内容はアイスブレイクのためのゲーム、ゲストの講演を聞き、交流会、グループワーク・発表と盛りだくさんな内容でした。交流会では各県の活動と現状の報告と質疑応答、ピアっ子同士の交流を行いました。

感想は全国のピアっ子と交流することで自分の視野を広げられたと思います。セクシュアリティ・パネルディスカッションでの3人のゲストスピーカーの講演を聞いてグループで話し合うなかで、好みや考え方は人それぞれであり私たちがこの生活の中で自然と認め合っているけれど、性の対象に関しては、好きにな

る相手は異性だと自然と考えられていて、同性を好きになることを特別視していることに気づきました。だけど、「人を好きになる」ということはすごくシンプルな事で、誰かを「好きだ」と思う気持ちに変わりはなく、同性・異性は関係ないことに気づきました。思春期の子ども達に気づいてもらうにはどのように伝えたらいいのか難しく悩みました。

グループワークで他府県のピアっ子と作業を行ったり、ピアリンピックの発表では、新たな伝え方や表現の仕方を発見できたので、今後の活動に生かしたいと思いました。

グループディスカッションでは、他府県の現状を聞き、兵庫県は養成講座を毎年行えたり、交通費の援助があったりとかかなり好条件で活動ができることがわかりました。また、ピアっ子の人数や、活動の機会が多いことも兵庫県の特徴であると感じました。

(関西福祉大学 高畑めぐみ ピアネーム めぐみ)

ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会 2007年度活動実績

ピアカウンセラーの養成および関係者研修会の開催

第4回思春期ピアカウンセラー養成講座を神戸市看護大学ほかで開催しました。ベーシック講座は2007年6月9日・10日・16日・17日に行い、42人が修了しました。そして、実践経験を踏まえて、2008年2月9日・10日にフォローアップ講座を行いま

した。

思春期ピアカウンセリング関係者研修会は、2007年6月18日・19日に神戸市看護大学で開催しました。約40人の参加があり、熱心に受講されていました。



ピアカウンセラー養成講座
フォローアップ講座

ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援

ピアっ子たちの実践活動は、少人数グループを対象としたピアカウンセリング、多数を対象としたピアエデュケーションおよび啓発を目的としたデモンストレーションに分かれます。

2007年度は、ピアカウンセリングを63回、ピアエデュケーションを10回、デモンストレーションを7回、合計80回の活動を行いました。実施場所は、高校20校、中学校4校、大学2校、その他1か所でした。

【ピアエデュケーション実施状況】

学校名	参加者
宝塚東高校	2年生178人
芦屋大学付属高校	1年生200人
甲南女子中学校	3年生82人
生野高校	1年生147人
豊岡総合高校	1年生183人
長田高校	1年生320人
松陽高校	1年生230人
三田祥雲館高校	1年生320人
西宮高校	1・2年生800人
川西市立清和台中学校	2年生160人

延べ参加者は約4500人、ピアっ子の延べ参加数は392人にのぼります。

【ピアカウンセリング実施状況】

学校名	参加者
若者ゆうゆう広場・木輪	地域の高校生17人 延10回
柏原看護専門学校	1・2年生66人
柏原高校	保健委員ほか22人延2回
神戸市看護大	高校生5人
篠山産業高校東雲校	全校生100人
龍野実業高校商業科	2年生女子38人
神戸西高校	2・3年生延185人延12回
赤穂高校（定時制）	1～4年生64人延2回
新宮高校看護科	3年生34人
順心会看護医療大学	学園祭14人
北条高校家政科	1・2年生78人
神戸市看護大	学園祭50人
錦城高校（定時制）	4年生25人
志知高校	27人
小野工業高校(定時制)	1～4年生69人延4回
神戸市立鷹匠中学校	2・3年生458人延12回
氷上高校	1年生145人延4回
福崎高校	1～3年生希望者35人
千種高校	2年生34人
相生産業高校	1年生ほか84人延3回
淡路市立東浦中学校	2年生69人



高校での
ピアカウンセリング



中学校での
ピアカウンセリング

ピアっ子の感想

ピアの活動を通して、今まで考えなかったことを深く考えたり、色んな考え方があることを知るなど、視野が広がった。苦手だった大勢の前で話すことにも慣れてきた。

中高生がピアをきっかけに考えたり、気軽に話してくれることが嬉しくて、やってよかったと思う。これからも同じ目線で、共感できるPeerでいたい。

(神戸市看護大学 高見愛 ピアネーム あい)

ピアっ子として色々な場所で活動して、毎回思うのはやっぱり「楽しかった」が一番です。

計画を立てたり、準備をしたりするのはもちろん大変ですが、それも皆でやれば楽しいし、ピアの活動をして「面白かった」とか言ってもらえるとすごく嬉しいので、毎回「次はもっと良くしよう」なんて思います。

(神戸市看護大学 野田愛 ピアネーム マナ)

高校生対象のデートDVアンケート(神戸市)

神戸市が実施した「高校生の男女共同参画と男女間の暴力に関するアンケート調査」について、神戸市男女共同参画センターの吉村さんから情報提供をいただきました。

神戸市では、平成19年度に内閣府の委嘱を受け、市内全日制公立高校の生徒を対象にアンケート調査を実施しました。

デートDVと呼ばれるカップル間の暴力については、交際しているまたは交際していたと答えた人(全体の44.6%)のうち、33.6%の人が暴力に当たるいずれかの行為を受けたことがあると答えています。自分を優先しないとっておこられる(全体18.6%)、しょっちゅう電話をしてきてどこで誰とあっているかをしつこく聞かれる(全体12.4%)、携帯電話をチェックして異性の友人の番号、アドレスを消せと言われる(全体9.2%)等ほとんどの項目で女性の方がされたことのある割合が高く、相手を怖いと思った割合も女性の方が高くなっています。

女性は半数が、男性は4人に1人が相談していますが、その相

手はほとんどが友人でした。

また全体の2割近くの人が身近で暴力を見聞きしており、それは友人や家庭内での暴力の見聞きでした。この調査結果を見ても、決して暴力はどこか遠くのことでなく身近なところにあることが分かります。また暴力に対する誤った見方、暴力をふるわれるほうにも悪いところがある等については、女性より男性のほうが割合は高くなっています。暴力は犯罪です。決して許されるものではありません。神戸市ではこのアンケート調査の結果を参考にDVについて理解を求め、暴力を許さない社会作りに取り組んで行きたいと考えています。

アンケート結果については市のホームページからもご覧いただけます。

報告書：<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/15/060/kyodo/danijo/osirase/dvreport.pdf>

概要版：<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/15/060/kyodo/danijo/osirase/dvreportgaiyo.pdf>

神戸市男女共同参画センター担当：吉村
電話：078-361-6977

めっせーじ

空の色と雲の形が秋らしくなってきました。近所の田んぼは稲刈りも終わり、風の中に収穫の臭いを感じます。1年ぶりにニュースレターをお届けすることができました。

今年で、ピアカウンセラー養成も5年目となり、累計、196名のピアカウンセラーを輩出しました。皆様方のご支援でピアカウンセリング活動にご協力いただける中学校や高等学校も増え、年々活動範囲の広がりを実感していますが、それと共に運営上の課題も出てきます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。(Y・K)

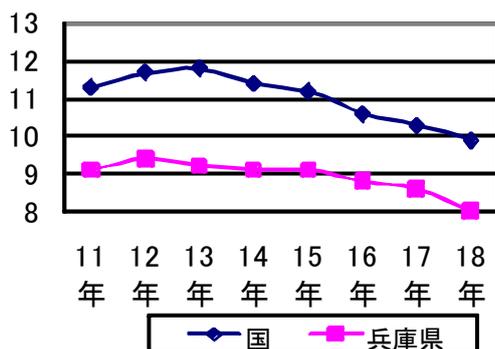
会計報告

2007年度会計報告

	(単位：円)
収入	2,436,431
支出	2,268,541
当期収支差額	167,890
前期繰越金	563,803
次期繰越金	731,693

ピアっ子たちが活動するためには、地域の理解、環境整備、大人世代のバックアップは必須です。教育、医療、地域保健の関係者などたくさんの皆さんとともに力を合わせ。思春期の若者の性と生を支えたいと考えています。どうぞこの研究会にご参加ください。 年会費 個人会員3000円 団体会員1口10000円

人工妊娠中絶実施率
(15歳以上50歳未満女子人口千人対)



15～19歳の定点観測による性感染症の件数
(兵庫県及び神戸市)

